



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2012年3月第2週号

第2349回



平成24年3月9日(金) 点鐘12:30(雨)

- ◆ロータリーソング 『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆黙祷

昨年の3月11日に発生しました東日本大震災は、間もなく1年を迎えようとしております。未だ行方不明の方々もおられますし、多くの方々が犠牲となりました。その方々に対しまして黙祷を捧げたいと思います。

◆お客様紹介

- ・本日のゲストスピーカー／詩人 近藤 文子様
- ・弁護士／石井 慎一様

■会長挨拶及び報告 出井 清会長

昨年の3月11日、例会が終わって会社へ帰ったところで地震が起きました。地区内では、津波の被害に遭われた方がおられたようですが、亡くなられたという報告は聞いておりません。一方、「ロータリーの友」によると、当日、石巻グランドホテルで例会を行っていた石巻東RCの会長さんにおかれましては、帰宅後間もなく大地震が発生、そして大津波が襲いご夫妻共に亡くなられたということが掲載されておりました。今周は、テレビや新聞などマスコミメディアが揃って被災地の現状を取りあげております。

3月といえば2年振りに大相撲春場所(大阪)が開催されます。相撲業界では、八百長問題や力士への暴力問題などの不祥事が続き、世間を騒がせた挙句、興行が中止となりました。相撲ファンならずともガッカリした人は大勢いたと思います。普段なら新聞やスポーツニュースに取り上げられているところですが、そういったことがないということは寂しいことだと思います。“普段通りのこと”

“普段の暮らし”がいかに大事なもののなのかということを考えさせられます。

■入会式

酒井 秀大会員 (近藤法律事務所・弁護士)

(紹介者: 向後保雄会員、伊藤和夫会員)



皆様こんにちは。

私は、皆様の中では年齢的にはかなり下の方になるかと思えます。まだまだ若輩者でございますので、皆様の今までの経験やお仕事のお話しやプライベートのお話しを伺いながら、自分自身の研鑽とロータリークラブを通じて社会奉仕をさせて頂ければと思っております。どうか宜しくお願い致します。

■ご紹介

石井 慎一様 (紹介者: 金親 博榮会員)

皆様はじめまして。今年の初めに私の先輩である弁護士の熊野先生からお誘いをいただき是非一度来てみないかといわれておりました。仕事の都合でなかなか時間が取れなくて、やっと今日参加させて頂きました。非常に良い雰囲気だと思いますので、これからも宜しくお願い致します。

■退会挨拶

上田 欽一会員

こんにちは。短い間でしたが、大変お世話になり有難うございました。社命がおりましたものですから、行かざるを得ないということで、名古屋に異動となりました。名古屋方面にお越しの際には是非ともお声を掛けて下さい。海老フライやきし麺をご馳走したいと思います。

本当に有難うございました。

■幹事報告

伊藤 和夫幹事

3月22日(木)、CSRゴルフ会を行います。また同日の夕方には、グルメの会(韓国料理・キムちゃん)を行います。ご参加宜しくお願い致します。

ニコニコボックス報告

◇出井 清会長・伊藤 和夫幹事

・本日のゲストスピーカーの近藤文子様、卓話をよろしくお願ひ致します。

・弁護士の石井慎一様、ようこそお出で下さいました。例会の楽しい雰囲気を感じて頂ければ幸いです。

◇伊藤 和夫会員

酒井秀大様、千葉南RCへご入会いただき有難うございます。ロータリアンとして今後、ご活躍いただきますよう宜しくお願ひ致します。

◇五十嵐博章会員

先週は、私の下手な歌を聴いていただきまして有難うございました。又、私のCDと松本卓也のCDをお買い上げくださいませ有難うございました。来週の例会時にお持ちしますので宜しくお願ひ致します。

◇上田 欽一会員

4月1日で異動となりました。名古屋での勤務となりますが、千葉の思い出を持って頑張ってお仕事を致します。有難うございました。

◇川合 柁栄会員

“ミニギャラリー”オープンの案内状を郵送させていただきました。

◇金親 博栄会員

石井慎一様、本日はようこそお越し下さいました。是非とも、これから毎週金曜日にご出席ください！

◇吉田 裕成会員

近藤文子様、お久しぶりです。今日は宜しくお願ひ致します。

本日のニコニコボックス	9,000 円	累計	570,976 円
金の箱	50 円	累計	19,966 円

出席報告 (会員数38名)

出席者数38	欠席者数11	ビジター 2	修正出席率 75.68%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	3/19	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	3/27	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	3/28	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	3/29	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	3/29	京成ホテルミラマーレ

…本日の卓話…

演 題…『暮らしの中のしきたり』
卓話者…NPO法人文芸フォーラム
理事長 近藤文子様



本日は『暮らしの中のしきたり』ということで、去年災害が起こったあと、私たちの暮らし方あるいは生活のしかたというのがとても見直されてきております。放送大学でも講座を持たせていただいておりますが、人数が募集した予定の2倍ぐらゐの応募がありまして抽選でその講座がいっぱいになるような人気の講座でございます。

ということで、私たちが日ごろ何気なく行っている行事だとか、あるいはお祭りであるとか、『しきたり』と言うと堅苦しく思いますが、そういったものがどこから来ているのかということを中心に置きながら話をさせていただきます。そのしきたりは、私たちが日常行っている神社の前に行ったらお辞儀をするとかあるいは、北の神様にこのようにすべきかとの教えは全て古代中国の思想陰陽五行説から来ています。それらのすべてが日本のしきたりの中に溶け込んで私たちは普段暮らしています。それらを含めまして話をさせていただきます。そのような意識がいつ頃から始まったのかといえますと古代縄文時代あるいは弥生時代で、当時の方々はお日様に対し有り難いものという感謝の念をいできておりました。木が生えその木を切って火を熾すようになり、木も大事な生き物と考え、すべての自然現象は神様が実らせてくれると感謝し、そして草花が大きく実りその後稲に移行しました。お祭りのすべての行事は、この稲の実りを願ったものです。ですから、『ミコル』という字はのぎへんに念と書き、年(トシ)の年(ネン)と合わさり、稲を水に浸してやがて芽が出て田植えをしてその1年後無事に実りますようにとの願ひがお祭りで神様をお呼びする心となっていく訳です。その一周期を一年と書いて“ひととし”というのですが、稲が一巡して実るまでとの意味合を持っています。そのような自然現象の中で木にも神様が宿り、川にも神様が宿り、そしてもちろん地面にも神様がいて、すべてを神が司っているといった自然崇拜志向がやがて神へのまつりごとに繋がってっていきます。そして、例えば昔、木を伐ります。その木の切り株のところ、木の枝の先を切り小さな小枝を添えますがそのことは鳥総立て(とぶさたて)といえます。昔、大伴家持が能登半島に役人として赴任する際の船のなかで山の方からカーン、カーンと音がしたので、あれは何をしているのかと尋ねますと、鳥総(とぶさ)を立てておられますと言われたので、それから鳥総立て(とぶさたて)が目されるようになりました。木を切るだけでなく木に感謝することと、小さな苗がやがては大木になりますようにとの願ひと祈りもあります。

自分だけが得をするのではなくすべての実りに感謝いたしました。山や畑の神様への祈りがやがて心の表し方としてお祭りとなっていたわけです。

私たちの身近に四季を通していろいろなしきたりがございませうけれども、例えばお正月に何故門松を飾るのか、ある若い方に尋ねたところ「あっ、知っているよ。あの役所から配られる四角い紙でしょ」と答えたことをあるところでお話したところ、ほかの男の方が「役所じゃないよ、インターネットでプリントアウトできる」と答えられました。何となく簡素化され、しきたりがなくなってきましたが、私たちの心の原点がどこにあるかということを探ることで私たちの心が豊かになるのではないかと思うことで、私は今伝え続けているわけです。そして門松がなぜ松の木なのかの理由は、松は冬でも枯れない常緑樹、昔の人は冬でも青々とした松の木だけは特別の神様が宿り、あの木だけは長寿で邪気が寄らないと考えたことが基本になっています。また当時の人は、12月13日に身を清め、山に入りじっと目と心を凝らして心静かな人にだけ伝わる魂により、来年の年神様が止まっている松の木を見つけ、それを切り家に持ち帰って門にかけたのが始まりです。また竹も一緒に添えられますが、竹も冬でも葉が落ちないため、枝を振るとサラサラと音がし、その音で神様が気づき家に年神様をご降臨されるように松と竹を門に置いたことが始まりです。

昔は一年の四季を田植えに合わせ、月の神様による細かな七十二節気(太陰暦)を用いていましたが、やがて二十四節気に凝縮されました。明治時代になり、五つで十分となり一月七日(人日の日) 三月三日(上巳) 五月五日(端午) 七月七日(七夕) 九月九日(重陽)の五節句となりました。

一月七日に七草粥を食べる意味は氷った固い土の中から出てくる緑の芽には特別の若い力が宿っていると考えたためです。その若い力を刻んで食べ体内に入れることで自分の細胞一つ一つが蘇生し若返ると捉えたので七草粥を食べると言う意味のある行事が行われるようになりました。

三月三日のお雛様は人形を飾ることが目的ではなく女性の方が田畑に出て仕事を始める際、心と体が汚れているとその田畑の実りが悪くなるため、心身ともに綺麗になり田畑に出てほしいとの願いから、白い紙を人形(ヒガタ)に切りからだ全体を拭い、川あるいは海に流したのが流し雛の原点となります。その後、人形が華やかになり女性の汚れ禍を吸い取り女性の成長を助けてくれるものと考え方によって変わってきました。江戸時代になり、お金持ちは女の子が生まれると名工にお雛様を作らせお嫁に行く際持たせる習慣ができました。その際黒い髪ではなく陰陽五行説からすると髪の毛は白色でなくてはなりません。

陰陽五行説は東西南北に色がついていて北は黒、南は赤、西は白、東は青です。全ては西から始まると考えられていますので西の白色が始めとなります。また真ん中は黄色でその理由は日本の土は黒い色ですが、中国の土は黄色のためその土を合わせ5色の旗を表し、この五色は非常によく使われます。

建て前で弊串の上に5色ののぼり旗を立てる意味は五穀豊穡と5方向の神様が安泰に守ってくれる意味合いを持っています。花嫁が白無垢を着る意味は身も心も真っ白であなただけのために尽くすことの表れで、結婚式のあと袖の短い着物に着替え割烹着を掛けお茶を出したりした風習がお色直しの原点です。

5月5日端午の節句の鯉のぼりは、立てる木は真っ直ぐ伸びた杉の木を使います、その上に必ず杉の葉が飾られているのは杉の葉は青々としていて神様に目立ちやすいからとされています。

結界としてのしめ縄は、神聖な場所と俗界とを分ける役割を果たしていて昔の人の考え方は全てのものに神様が宿り、恵みをいただきそして実りが多いことを願う行事がしきたりになりました。

また、お神楽は田植えの時期に山から里に神様に来ていただく際、神様が飽きないように踊りや歌を歌ったものが原点になっています。全ての“しきたり”は実りに関係していて、そこには全て感謝と祈りの心が含まれています。(文責 村田 紀之会員)

《しきたり》(Yahoo! 百科事典より)

ある社会に共通してみられる行動様式を基礎にして成立した、一種の社会規範 social norms をいう。その社会の大半の成員によって、標準的で持続的な行動の型として守られる慣習のことである。こうした慣習は、親類・近所づきあい、商取引、宗教行事、冠婚葬祭、ことば遣い、公衆道徳、芸能・娯楽などにおいて、一定のルールとして定められたものである。それは、社会的行動の基準となるものであるが、意味付けや機能に関して、二つのタイプが区別される。その一つは、習俗 folkways とよばれる慣習である。それは、特定の社会や集団において、古くから伝えられてきた適切なふるまい方をさしている。ただし、社会的に是認されてはいても、かならずしも社会的道徳として重要だとは考えられていない。この種の慣習に対しては、無意識的ないし自動的に同調することになる。それは子供の社会化を通して、世代的に伝達される。その違反に対する非難、制裁は弱い。第二のタイプは、習律またはモース mores と称される慣習である。それへの同調は任意選択ではなく、違反に対しては厳しく罰せられる。一種の慣習法であるが、成員はそれに対して、善や正義の観念を抱き、その維持が集団の福祉に必須(ひつす)だと信じるものをいう。アメリカの社会学者サムナーの『習俗論』(1907)で、これら二つが区別された。

第2350回例会

《午後のひとときを落語でお楽しみ下さい!》

日時⇒ 平成24年3月16日(金) 点鐘12:30

社団法人落語協会 月の家 鏡太様

第2351回例会

《移動花見例会(千葉緑RC、合同例会)》

日時⇒ 平成24年3月30日(金) 点鐘12:30

会場⇒ チェルシーコートおゆみ野ガーデン

